



知内川が流れる重内平野の向こうに津軽海峡が広がる

空から  
こ  
ん  
に  
ち  
は



涌元漁港から中の川方面に延びる海岸線  
(中央は北海道電力知内発電所)



丸山など知内山地を望む



津軽海峡から知内のまちなみを望む

山と海に囲まれた自然豊かなまちです。

## 知内町の まちなみ

北海道の南端、渡島半島の南西に位置する知内町は、目の前に津軽海峡が広がり、背後には山が連なる自然豊かなまちです。平野は、まちの中央を西から東へ流れる知内川をはじめとす

る中小河川の流域や重内地区および海岸地域に開けており、市街地と農地が広がっています。特に重内地区は水田やハウスが集中し当町農業の中心地域です。町内には国道1路線、道道2路

線のほか、町道道路網が整備されており、町道の舗装率は約70%となっています。

松前矢越道立自然公園の一部をなし、「道南の知床」ともいわれる自然景観を有する矢越岬は、

南北21キロに延びる海岸線の南端にあります。この矢越岬から続く矢越海岸は変化に富んだ景勝地で、釣りやキャンプなどアウトドアレジャーに訪れる観光客が増加しており、海岸道路

沿いには10軒を超える旅館や民宿があります。

市街地は公共施設、医療施設、食料品店、飲食店が集積し、暮らしやすいまちなみを形成しています。